

# 現代日本における家族

田中重人 (東北大学文学部准教授)

## 1 概要

- ◆ 到達目標：(1) 家族研究の基礎的な概念と理論を理解する；(2) 実証的データに基づいて現代日本における家族の現状を把握する
- ◆ 授業内容・目的・方法：「家族」をめぐる問題は、さまざまな学問領域で研究対象となっています。この授業では、社会学を中心に、法学・経済学・人口学などにおける家族研究の成果を概観したうえで、現代日本社会における家族問題について考えます。トピックとしては、親族関係の分析、家族の形態と制度、結婚と離婚、出生と育児、ライフコースからみた家族、人口変動と家族などをとりあげます。授業においては、およそ2回に1回の割合で、これらのトピックに関連したテーマを設定して、授業時間内に作文を完成させる課題を課します。また法律や統計などの資料を探索・解釈する宿題を課したり、各自の役割分担にしたがって調べたことを互いに教えあう活動をすることもあります。
- ◇ 教科書：神原文子 (ほか編)(2009)『よくわかる現代家族』ミネルヴァ書房。
- ◇ 成績評価の方法：授業中の課題と宿題 (30%)、中間試験 (35%)、期末試験 (35%) を合計して評価する。
- ◇ その他：授業中の課題遂行のため、携帯用通信機器や電子辞書の持ち込みを推奨する。

## 2 授業の概要

- (1) イントロダクション (4/8)
- (2) 親族と家族 [I-1] (4/15)
- (3) 家族の法: 分担を決めて調べ、グループで討論 [XI] (4/22) (5/13) (5/20) (5/27)
- (4) 人口と家族 (1): 人口学の考えかた (6/3)
- (5) 人口と家族 (2): 結婚と出生 [VI-3] (6/10)
- (6) 中間試験 (6/17)
- (7) 人口と家族 (3): ライフサイクルの変化 [III] [VI-4] (6/24)
- (8) 家族変動 [III] (7/1)
- (9) 家族の経済学 (7/8) (7/15)
- (10) 課題再提出、期末試験 (7/22)
- (11) 課題・試験返却と全体のまとめ (7/29)

※ ( ) 内の日付は、おおよその計画をあらわしているが、実際の授業の進行状況によって前後にずれることがある。

※ [ ] 内は、教科書の章番号。

※ 中間試験はなんでも持込可、期末試験は手書きメモ1枚 (A4判) のみ持込可、の予定

### 3 教科書以外の参考文献

- 利谷信義 (2010) 『家族の法』 (第3版) 有斐閣.
- 藤見純子・西野理子 (編) (2009) 『現代日本人の家族: NFRJ からみたその姿』 有斐閣.
- 京極高宣・高橋重郷 (編) (2008) 『日本の人口減少社会を読み解く: 最新データからみる少子高齢化』 中央法規出版.
- 湯沢雍彦・宮本みち子 (2008) 『データで読む家族問題』 (新版) 日本放送出版協会.

### 4 受講者との連絡とフィードバック

毎回の課題・宿題は、コメントをつけて返却します (内容によっては再提出を求めることもあります)。学期末にこれらをもう一度まとめて提出することになるので、捨てずにとっておいてください。中間試験、期末試験は、採点後に返却します。

### 5 第2回目までの宿題

教科書を購入して、第I章を読んでおくこと

### 6 連絡先

田中重人 (東北大学文学部日本語教育学研究室)

〒: 980-8576 仙台市青葉区川内 27-1 文学部・法学部合同研究棟 2F

**E-mail:** tanakas2013 @ tsigeto. info

**Homepage:** <http://www.sal.tohoku.ac.jp/~tsigeto/>

**Blog:** <http://b.tsigeto.info/school>

オフィス・アワーは定めていない。質問等がある場合は、あらかじめ適当な時間に予約をとること。

受講者への連絡は、文学部 2F 教務係前の掲示板および東北大学「学務情報システム」においておこなう。ただし、休講などで緊急を要する連絡は、田中の個人ブログ (School カテゴリの記事) に掲載することがある。<http://www.sal.tohoku.ac.jp/~tsigeto/newsj.html> を参照。

## 現代日本論概論「現代日本における家族」 (田中重人)

### 受講登録フォーム

氏名 (よみ):

学年:

学籍番号:

所属 (文学部日本語教育学専修以外の場合):

興味のあること (非学術的な内容でも可):

授業でとりあげるテーマについての希望 (もしあれば)、その他の連絡事項

以下は採点用

	4/14	4/22	5/13	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1	7/8	7/15	7/22
宿題													
課題													
参加													
試験													

--	--

### 予備知識の調査（成績評価には関係ありません）

(1) 「核家族」(nuclear family)とは何か。簡単に説明せよ。

(2) 「M字型曲線」(M-shaped curve)とは何か。簡単に説明せよ。

(3) つぎの文章の（ ）内にあてはまる数字を入れよ。

民法第731条によれば、女性は（ ）歳、男性は（ ）歳にならないと結婚できない。また、（ ）歳になるまでの間は、父母の同意がなければ結婚できない。

労働基準法第56条によれば、（ ）歳未満の児童を雇用することは原則としてできない。

きょうだいは（ ）親等の関係にある。

(4) 「高齢化社会」(aging society)とは何か。簡単に説明せよ。

# 親族関係用語について

「親族」(kinship) とは …… 親子関係と夫婦関係でたどれる間柄の人々のこと

- ・ 孫 = 子供の子供
- ・ 祖父母 = 親の親
- ・ 兄弟姉妹 = 親の子
- ・ 姑・舅 = 配偶者の親
- ・ 甥・姪 =
- ・ 義理の兄弟姉妹 =

(1) 親子関係だけでたどれる範囲の人々を「**血族**」(consanguinity)、夫婦関係をたどらないとたどりつけない人々を「**姻族**」(affinity) という。

(2) 親族のうち、世代的に上の者を「**尊属**」(ascendant)、下の者を「**卑属**」(descendant)という。

(3) 世代を上または下に一方的に進んでたどり着ける場合を「**直系**」(lineal)、折り返さないとたどりつけない場合を「**傍系**」(collateral) という。

(4) 親族関係の近さをあらわすのに「**親等**」(degree) を用いる。これは、親子関係を何回経由するとその人にたどり着けるか、その回数を数えるものである (ローマ法方式)。

【問題】 上にあげた「孫」から「義理の兄弟姉妹」までについて、上記の (1)~(4) にしたがって分類してみよう。

## 家系図 (family tree) による表現

女性が○、男性が△

尊属が上、卑属が下

夫婦関係は横の二重線 (=)

親子関係は縦の単線 (|)、ただし子供が複数のときは枝分かれした楕型の線にする

【問題】 つぎの範囲の親族について、家系図を描いてみよう：

自分、父、母、妹、姉、姉の夫、姉夫婦の息子